



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3555		
科目名	ストラテジー		
担当教員	宮川 正		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1310	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I 〔理解・分析と読解〕 文章表現における意味と含意を抽出し、分析及び理解することができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C 1 倫理的思考・社会認識（10%） E 1 学識と専門技能（30%） G 1 状況把握（20%） I 1 理解・分析と読解（20%） I 3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊、以来40年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。その間、米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに、実任務としても中東地域に滞在しました。本授業では各国で得た実務経験を生かすと共に、グローバルな時代を生きていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。（第1～15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	孫子の『兵法』や、クラウゼヴィッツの『戦争論』など、戦略論の古典はよく社会に知られています。こうした戦略論は従来の戦争、軍事作戦だけではなく、経済活動やスポーツ・ゲームなどの分野にもストラテジーとして応用され広く知れ渡るようになってきています。ここでは、著名な軍事的戦略論を紹介したうえで、現代社会の多様なストラテジーに与えてきた効果、影響について考察します。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためのオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード；ストラテジー（戦略）、タクティクス（戦術）		
授業の趣旨	■副題 軍事的戦略論から現代版ストラテジーへの活用を習得 ■授業の目的 まず、孫子やクラウゼヴィッツなどの戦略論の概略を学修します。そして戦略のどの部分が現代のストラテジーとして取り入れられているか明らかにすることを目的とします。この際、教員の实務経験についても紹介します。 ■授業のポイント 歴史的戦略思想が誕生した背景と経緯、その実践への適用事例を学ぶことにより、現代における活用要領及び思考方法を習得します。		

総合到達目標	■学生は、以下2点の知識に基づき、その概略を説明することができる。 (1)孫子やクラウゼヴィッツなどのいくつかの歴史的戦略論に関する知識。(第1～11回) (2)歴史的戦略論が現代において戦略として活用されている場面に関する知識。(第12～15回)	
成績評価方法	■リアクションペーパー2～3回(50%)：適用ルーブリック E1・G1・I1・I3 (評価の観点)各授業の要点について疑問に思ったこと、参考になったことなど、自らの考えとその根拠を記述しているかを評価します。 (フィードバックの方法)次の回の授業において解説します。 ■課題(50%)：適用ルーブリック E1・G1・I1・I3 (評価の観点)戦略の授業全体で習得したことを記述することができるかを評価します。 (フィードバックの方法)提出後、解説を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ：授業ガイダンス ②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。(C1,G1) ③予習(120分)：シラバス全体をよく読んで、授業全体の構成について把握しておく。 ④復習(120分)：授業全体の構成、授業の目的と到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。
	2	①授業テーマ：戦略とは(定義) ②授業概要：戦略の定義について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(C1,E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：戦略がいかに定義されているか調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	3	①授業テーマ：伝統的な戦略 1 ②授業概要：シーパワー(マハン、コルベット)について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：シーパワーについて調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	4	①授業テーマ：伝統的な戦略 2 ②授業概要：ランドパワー(孫子、リデルハート、クラウゼヴィッツ、ジョミニ)について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：ランドパワーについて調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	5	①授業テーマ：伝統的な戦略 3 ②授業概要：エアパワー(ドーエ、ミッチェル)について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：エアパワーについて調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	6	①授業テーマ：伝統的な戦略 4 ②授業概要：核戦力と抑止(冷戦時代、弾道ミサイル防衛)について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：核戦力について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	7	①授業テーマ：戦略と非国家主体 1 ②授業概要：非正規戦(毛沢東)、ハイブリッド戦について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：非正規戦等について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	8	①授業テーマ：戦略と非国家主体 2 ②授業概要：平和維持、安定化、人道的介入について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：平和維持等について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。

	9 ①授業テーマ：科学技術と戦略 1 ②授業概要：統合理論と軍事トランスフォーメーションについて知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：統合理論等について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。 10 ①授業テーマ：科学技術と戦略 2 ②授業概要：サイバー戦争について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：サイバー戦争について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。 11 ①授業テーマ：科学技術と戦略 3 ②授業概要：スペースパワーについて知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：スペースパワーについて調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。 12 ①授業テーマ：戦略の派生 1 ②授業概要：国家安全保障戦略、経営戦略等について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：国家安全保障戦略等について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。 13 ①授業テーマ：戦略の派生 2 ②授業概要：スポーツ戦略、ゲーム戦略等について知識を深めることができる。担当教員の実務経験を踏まえて説明をします。(E1,G1,I1,I3) ③予習(120分)：ゲーム戦略等について調べておく。 ④復習(120分)：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。 14 ①授業テーマ：ストラテジーのまとめ 1 ②授業概要：これまでの授業内容をおさらいします。(G1) ③予習(120分)：授業で使用した資料、自らの講義ノートに目を通しておく。 ④復習(120分)：授業で使用した資料、自らの講義ノートをまとめておく。 15 ①授業テーマ：ストラテジーのまとめ 2 ②授業概要：理解度を高めるためのテストを実施します。(まとめのレポートに変更する可能性があります)(G1) ③予習(120分)：授業で使用した資料、自らの講義ノートに目を通しておく。 ④復習(120分)：授業で使用した資料、自らの講義ノートをまとめておく。
関連科目	安全保障論1(RMGT3551)、安全保障論2(RMGT3554)、防衛政策(RMGT3557)
教科書	■授業中に配布するプリント教材。その他はその都度指示します。
参考書・参考URL	■授業内で適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィス・アワー 開講時に告知します。それ以外の時間帯については、メール等で事前の appointments をとることにより研究室等で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%：パブリックセキュリティ25%：グローバルセキュリティ25%：情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

